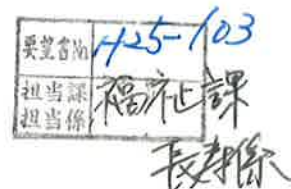


南砺市長 田 中 幹 夫 様

平成 26 年度に向けての南砺市シルバー人材
センター事業に係る要望について



公益社団法人 南砺市シルバー人材センター



南 砺 シ 第 40 号

平成 25 年 11 月 20 日

南砺市長 田 中 幹 夫 様

公益社団法人南砺市シルバー人材センター

理事長 長 尾 益 勇



平成 26 年度に向けての当シルバー人材センター事業に係る要望について

日頃より、当シルバー人材センターの事業推進に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度当初に「公益社団法人」となった当センターにとって、法人の「内部統治」と運営の基本姿勢である「法令順守」の両面からより厳しい公益性と公平性が求められ、適正就業を基本としたシルバー派遣事業等就業機会の多様化への対応や、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務の就業を基本としたワークシェアリングの導入など、従来にも増して法令順守によるセンター運営を推進することが求められております。

このことに加え、10 月末には労働局の訪問指導が実施されたこともあって、今年度分の契約時には適正就業の更なる推進に不断の努力を払い、ワークシェアリングによる就業の適正化や、請負業務に馴染まない就業についてはシルバー派遣事業や直接雇用への移行を促した結果、上半期分の契約金額は 2 億 3,932 万 1 千円で、対前年度比 15.61 ポイント (▲4,425 万 3 千円) の減、公益社団法人への移行前年度上半期の契約金額 (3 億 52 万 1 千円) との比較では実に 20.36 ポイント (▲6,120 万円) もの大幅な減となりました。

また、訪問指導の結果、市など公的機関から受託しております運転業務と保育業務 (現在：請負) については「望ましくない就業形態である」とのことで、来年度から派遣事業に切り替えるよう指導を受けました。

これら契約金額の激減によって、当センターは過去に例を見ないダメージを受け、存亡の危機にあると云っても過言ではありません。

つきましては、諸費多端の折柄まことに恐縮に存じますが、運営費補助金 (市単費) の増額とともに、運転業務及び保育業務について、埋文調査と同じく派遣事業として受入れていただきますよう、特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

県連 8%
市連 12%